

子育て中の保護者を対象とした「離乳食・ベビーフード」に関するアンケート

調査結果

令和4(2022)年度
保健福祉部生活衛生課

1. 目的

今回のアンケート調査は、離乳食・ベビーフードを利用している子育て世代に対してアンケートを実施し、離乳食・ベビーフードの何に対して不安を感じているのかを調査し、その不安に対してリスクコミュニケーションを実施することにより、食への不安の軽減を図る。

2. 調査実施の概要

(1) アンケート期間

令和4(2022)年12月13日～31日

(2) アンケート方法

オンライン調査(インターネットにより調査票の配布、インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答、回収)

(3) 調査対象: 栃木県内に住む0歳～12歳の子供がいる母親 8,598人

アンケート調査票を配布した登録ママ総数【8,598人】

内訳

- ・メルマガ会員(1,600人)
- ・facebook(2,298人)
- ・インスタグラム(2,804人)
- ・ライン(1,896人)

(4) 回答者数

116人

(5) 回答率

1.4%

(6) アンケート委託先

会社概要

商号 株式会社ビジュアル

設立 1991年3月26日

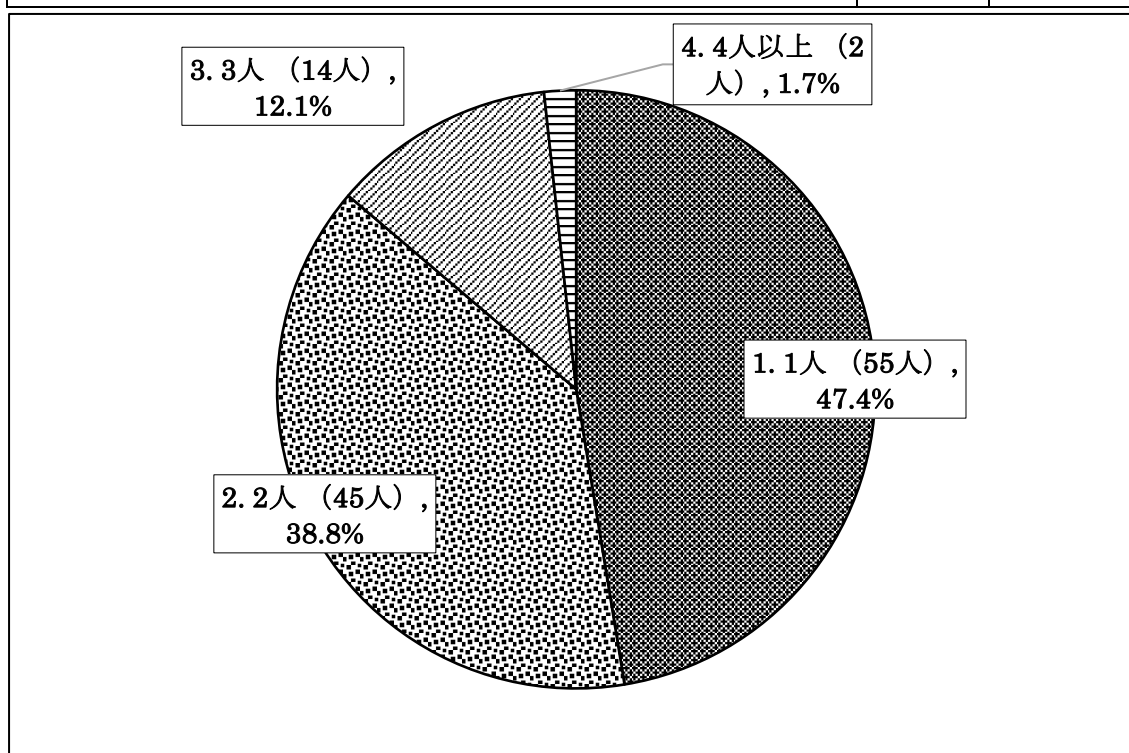
代表者 代表取締役社長 深澤明子

所在地 栃木県宇都宮市下川俣町 166-1

3. 調査の結果

Q1 あなたのお子さんの人数は何人ですか？

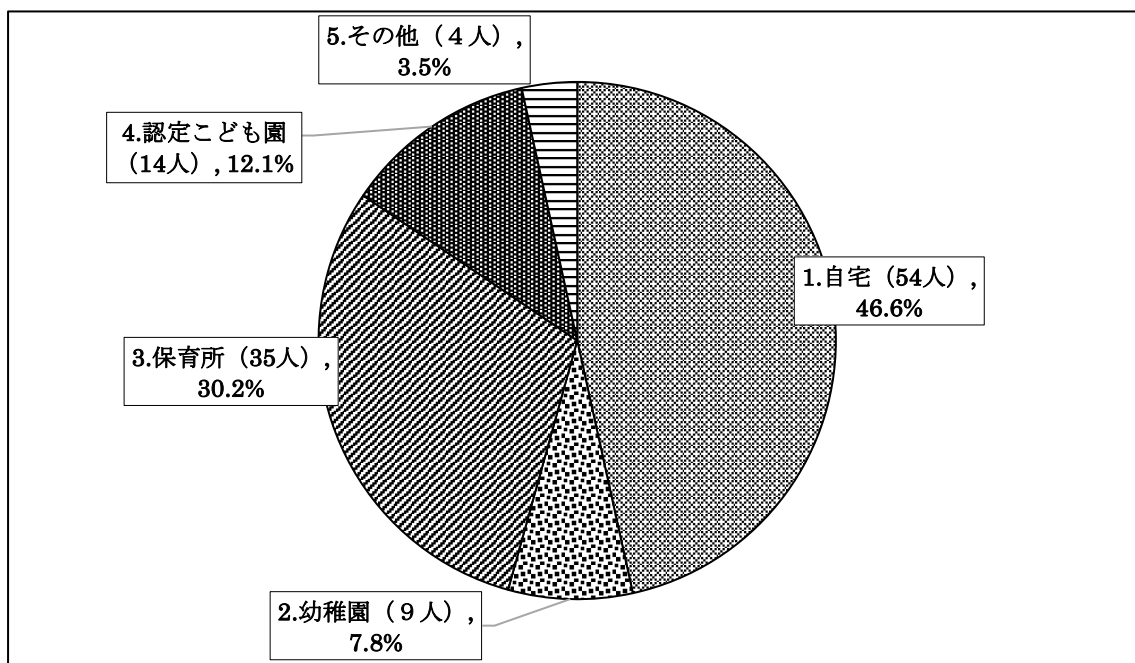
選択肢	回答者	割合
1. 1人	55人	47.4%
2. 2人	45人	38.8%
3. 3人	14人	12.1%
4. 4人以上	2人	1.7%
5. その他	0人	0%



アンケート回答者のお子さんの人数についての問いに対して、「1人」(47.4%)が最も高く、「2人」(38.8%)、「3人」(12.1%)、「4人」(1.7%)と続いている。

Q2 お子さんの平日の保育場所は主にどこですか？（1つ選ぶ）

選択肢	回答者	割合
1. 自宅	54人	46.6%
2. 幼稚園	9人	7.8%
3. 保育所	35人	30.2%
4. 認定こども園	14人	12.1%
5. その他	4人	3.5%



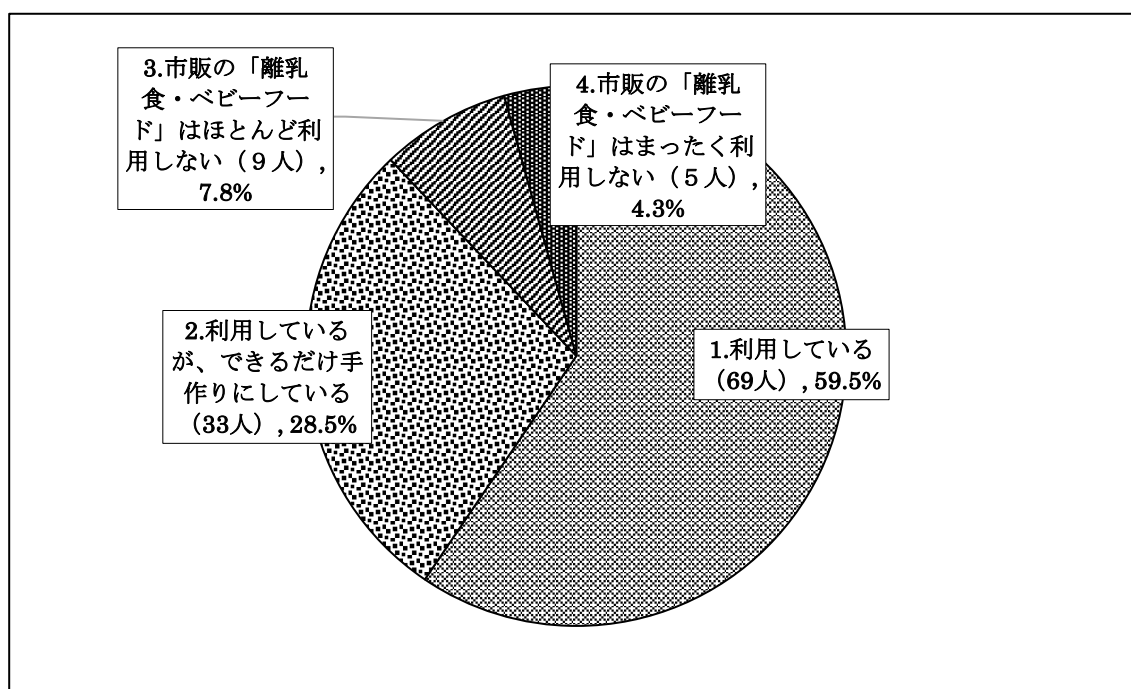
アンケート回答者のお子さんの平日の保育場所は主にどこかの問いに対して、「自宅」(46.6%/54人)が最も高く、「保育所」(30.2%/35人)、「認定こども園」(12.1%/14人)、「幼稚園」(7.8%/9人)と続いている。

○「その他」の意見

- ・今は3人目の育休中で、3人目は自宅だが、1人目は小学校→学童保育、2人目は保育園に通っているから。
- ・小学校(2人)
- ・現在は学童保育 小さい頃は保育園

Q3 市販の「離乳食・ベビーフード」を利用していますか？(1つ選ぶ)

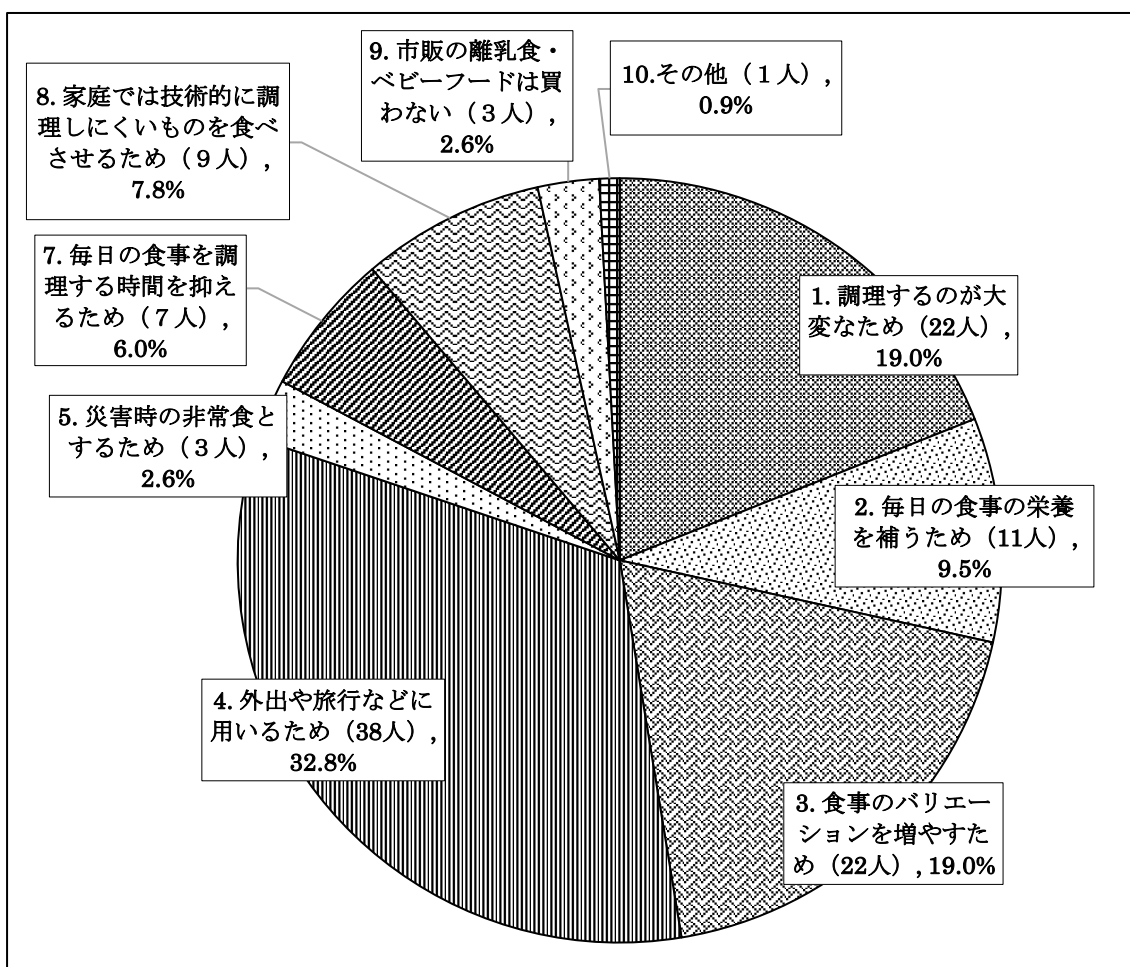
選択肢	回答者	割合
1.利用している	69人	59.5%
2.利用しているが、できるだけ手作りにしている	33人	28.5%
3.市販の「離乳食・ベビーフード」はほとんど利用しない	9人	7.8%
4.市販の「離乳食・ベビーフード」はまったく利用しない	5人	4.3%



アンケート回答者のお子さんが市販の「離乳食・ベビーフード」を利用しているかの問いに対して、「利用している」(59.5%/69人)が最も高く、「利用しているが、できるだけ手作りにしている」(28.5%/33人)、「市販の「離乳食・ベビーフード」はほとんど利用しない」(7.8%/9人)、「市販の「離乳食・ベビーフード」はまったく利用しない」(4.3%/5人)と続いている。

Q4 普段どのような目的で「離乳食・ベビーフード」を購入されますか？ 主たる目的に一番近いものを選んでください。(1つ選ぶ)

選択肢	回答者	割合
1. 調理するのが大変なため	22人	19.0%
2. 毎日の食事の栄養を補うため	11人	9.5%
3. 食事のバリエーションを増やすため	22人	19.0%
4. 外出や旅行などに用いるため	38人	32.8%
5. 災害時の非常食とするため	3人	2.6%
6. 毎日の食事のコストを抑えるため	0人	0.0%
7. 毎日の食事を調理する時間を抑えるため	7人	6.0%
8. 家庭では技術的に調理しにくいものを食べさせるため	9人	7.8%
9. 市販の離乳食・ベビーフードは買わない	3人	2.6%
10.その他	1人	0.9%



普段どのような目的で「離乳食・ベビーフード」を購入しているかの問いに対して、「外出や旅行などに用いるため」(32.8%/38人)が最も高く、「調理するのが大変なため」及び「食事のバリエーションを増やすため」(19.0%/22人)、「毎日の食事の栄養を補うため」(9.5%/11人)、「家庭では技術的に調理しにくいものを食べさせるため」(7.8%/9人)、「毎日の食事を調理する時間を抑えるため」(6.0%/7人)と続いている。

○「その他」の意見

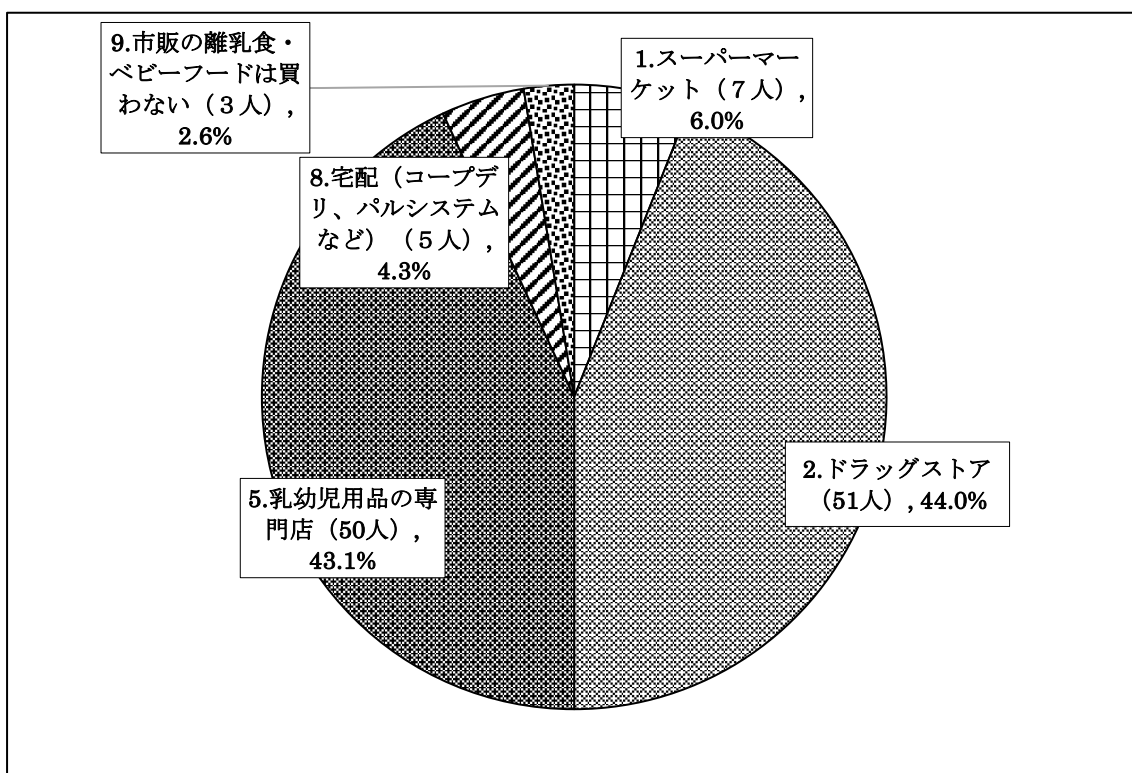
- ・当時、市販の離乳食やベビーフードは全く食べてくれなかった。

Q5 普段、「離乳食・ベビーフード」はどこで買いますか？ 一番多く購入する場所を選んでください。

(1つ選ぶ)

選択肢	回答者	割合
1.スーパーマーケット	7人	6.0%
2.ドラッグストア	51人	44.0%
3.コンビニ	0人	0.0%

4.大型量販店	0人	0.0%
5.乳幼児用品の専門店	50人	43.1%
6.100円ショップ	0人	0.0%
7.インターネット販売	0人	0.0%
8.宅配(コープデリ、パルシステムなど)	5人	4.3%
9.市販の離乳食・ベビーフードは買わない	3人	2.6%
10.その他	0人	0.0%

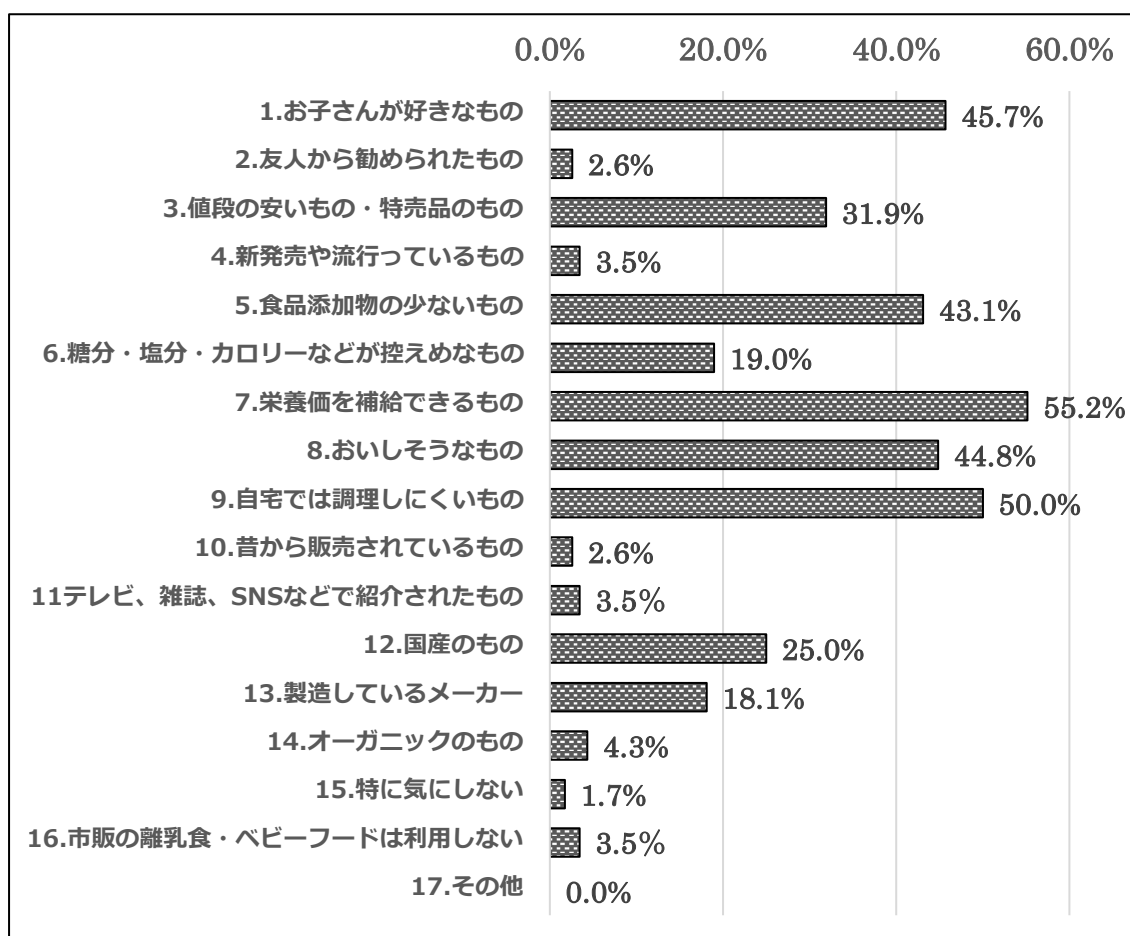


普段、「離乳食・ベビーフード」はどこで買うか(一番多く購入する場所を1つ選ぶ)の問いに対して、「ドラッグストア」(44.0%/51人)が最も高く、「乳幼児用品の専門店」(43.1%/50人)、「スーパーマーケット」(6.0%/7人)、「宅配(コープデリ、パルシステムなど)」(4.5%/5人)と続いている。

Q6 市販の「離乳食・ベビーフード」を選ぶポイントは何ですか？(複数回答可)

選択肢	回答者	割合
1.お子さんが好きなもの	53 人	45.7%
2.友人から勧められたもの	3 人	2.6%
3.値段の安いもの・特売品のもの	37 人	31.9%
4.新発売や流行っているもの	4 人	3.5%
5.食品添加物の少ないもの	50 人	43.1%
6.糖分・塩分・カロリーなどが控えめなもの	22 人	19.0%
7.栄養価を補給できるもの	64 人	55.2%
8.おいしそうなもの	52 人	44.8%
9.自宅では調理しにくいもの	58 人	50.0%
10.昔から販売されているもの	3 人	2.6%
11 テレビ、雑誌、SNS などで紹介されたもの	4 人	3.5%
12.国産のもの	29 人	25.0%
13.製造しているメーカー	21 人	18.1%
14.オーガニックのもの	5 人	4.3%
15.特に気にしない	2 人	1.7%
16.市販の離乳食・ベビーフードは利用しない	4 人	3.5%
17.その他	0 人	0.0%

(人)

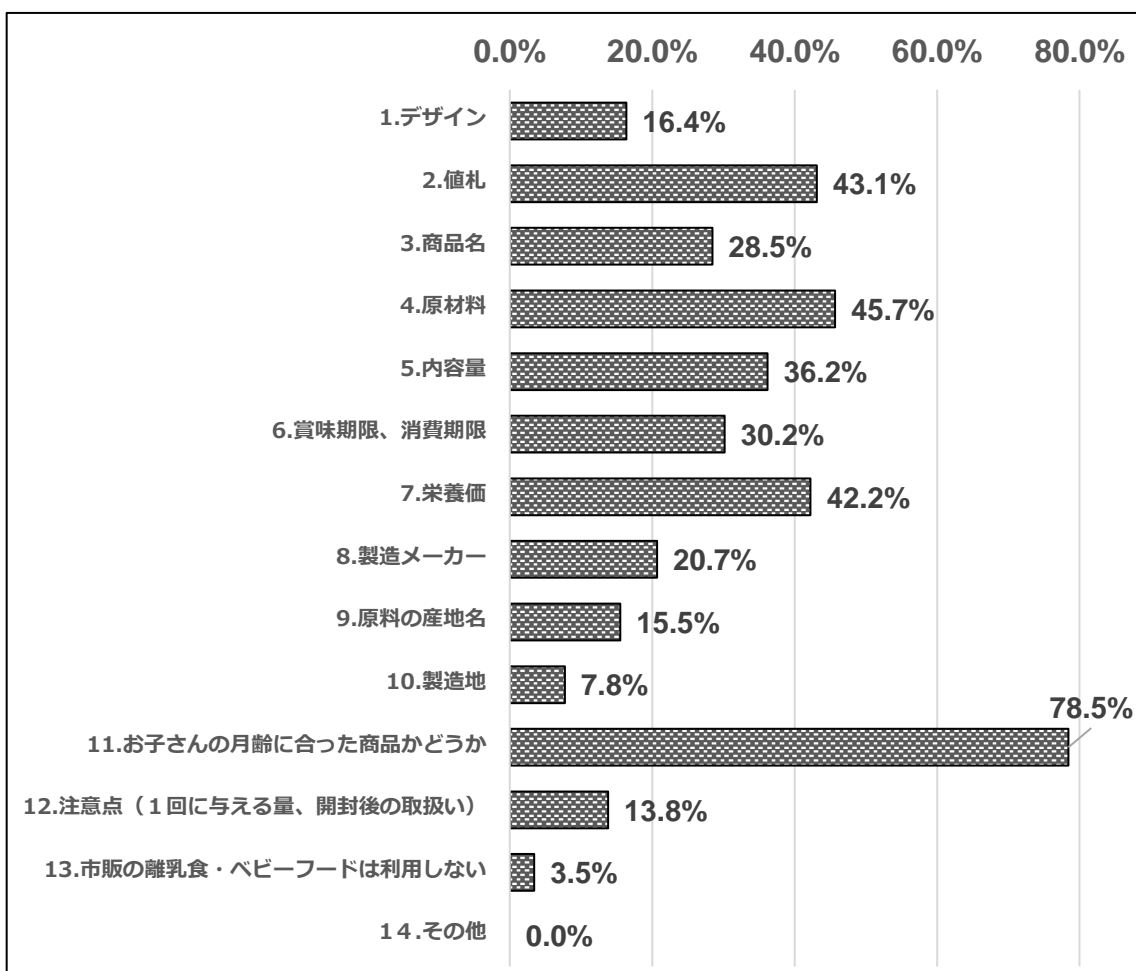


市販の「離乳食・ベビーフード」を選ぶポイントは何にかの問いに対して、「栄養価を補給できるもの」(55.2%/64人)が最も高く、「自宅では調理しにくいもの」(50.0%/58人)、「お子さんが好きなもの」(45.7%/53人)、「おいしそうなもの」(44.8%/52人)、「食品添加物の少ないもの」(43.1%/50人)と続いている。

Q7「離乳食・ベビーフード」を購入する時、パッケージのどこをみますか？(複数回答可)

選択肢	回答者	割合
1. デザイン	19人	16.4%
2. 値札	50人	43.1%
3. 商品名	33人	28.5%
4. 原材料	53人	45.7%
5. 内容量	42人	36.2%
6. 賞味期限、消費期限	35人	30.2%
7. 栄養価	49人	42.2%

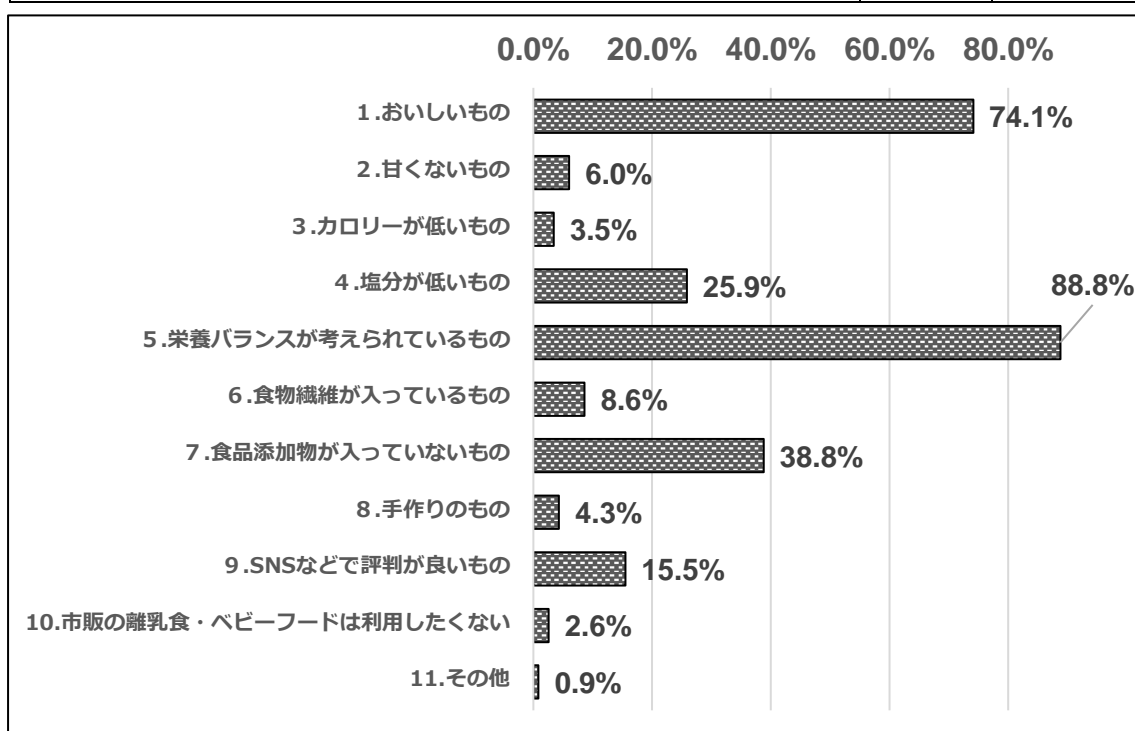
8.製造メーカー	24 人	20.7%
9.原料の産地名	18 人	15.5%
10.製造地	9 人	7.8%
11.お子さんの月齢に合った商品かどうか	91 人	78.5%
12.注意点(1回に与える量、開封後の取扱い)	16 人	13.8%
13.市販の離乳食・ベビーフードは利用しない	4 人	3.5%
14.その他	0 人	0.0%



「離乳食・ベビーフード」を購入する時、パッケージのどこをみるかの問いに対して、「お子さんの月齢に合った商品かどうか」(78.4%/91 人)が最も高く、「原材料」(45.7%/53 人)、「値札」(43.1%/50 人)、「栄養価」(42.2%/49 人)と続いている。

Q8 お子さんに食べさせたい市販の「離乳食・ベビーフード」とはどんなものと考えていますか？
(複数回答可)

選択肢	回答者	割合
1.おいしいもの	86 人	74.1%
2.甘くないもの	7 人	6.0%
3.カロリーが低いもの	4 人	3.5%
4.塩分が低いもの	30 人	25.9%
5.栄養バランスが考えられているもの	103 人	88.8%
6.食物繊維が入っているもの	10 人	8.6%
7.食品添加物が入っていないもの	45 人	38.8%
8.手作りのもの	5 人	4.3%
9.SNSなどで評判が良いもの	18 人	15.5%
10.市販の離乳食・ベビーフードは利用したくない	3 人	2.6%
11.その他	1 人	0.9%



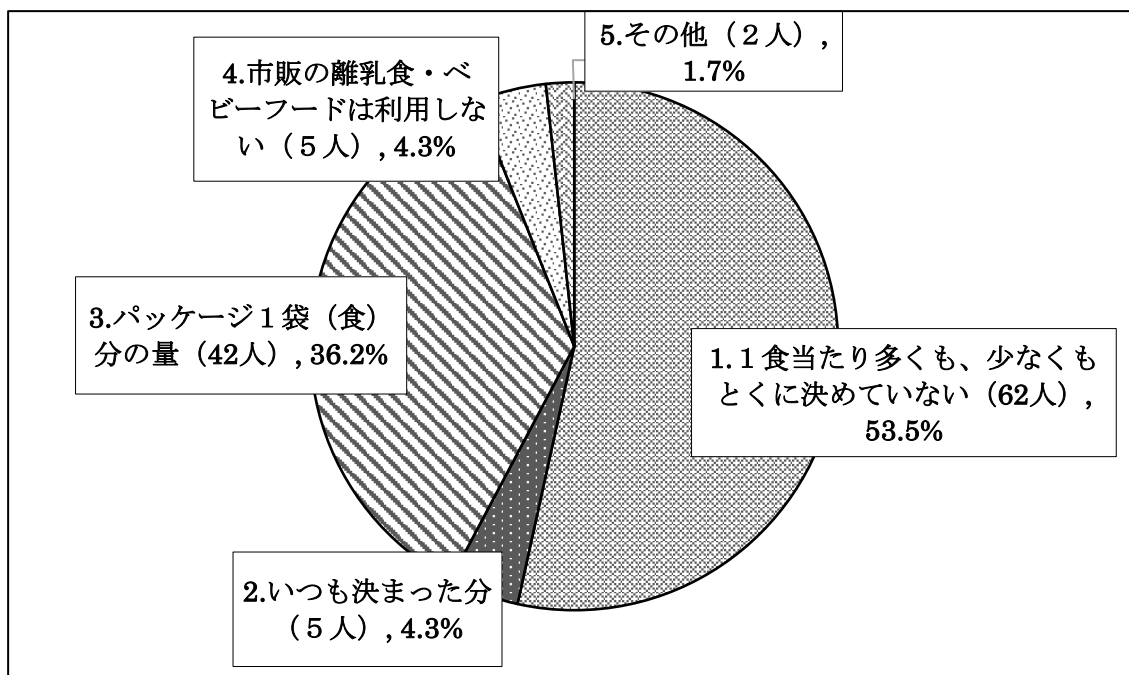
アンケート回答者のお子さんに食べさせたい市販の「離乳食・ベビーフード」とはどんなものと考えているかとの問いに対して、「栄養バランスが考えられているもの」(88.8%/103人)が最も高く、「おいしいもの」(74.1%/86人)、「食品添加物が入っていないもの」(38.8%/45人)と続いている。

○「その他」の意見

- ・鉄分が入っているもの

Q9 お子さんに1回当たりどのくらいの量の市販の「離乳食・ベビーフード」を与えていますか？(1つ選ぶ)

選択肢	回答者	割合
1.1食当たり多くも、少なくもとくに決めていない	62人	53.5%
2.いつも決まった分	5人	4.3%
3.パッケージ1袋(食)分の量	42人	36.2%
4.市販の離乳食・ベビーフードは利用しない	5人	4.3%
5.その他	2人	1.7%



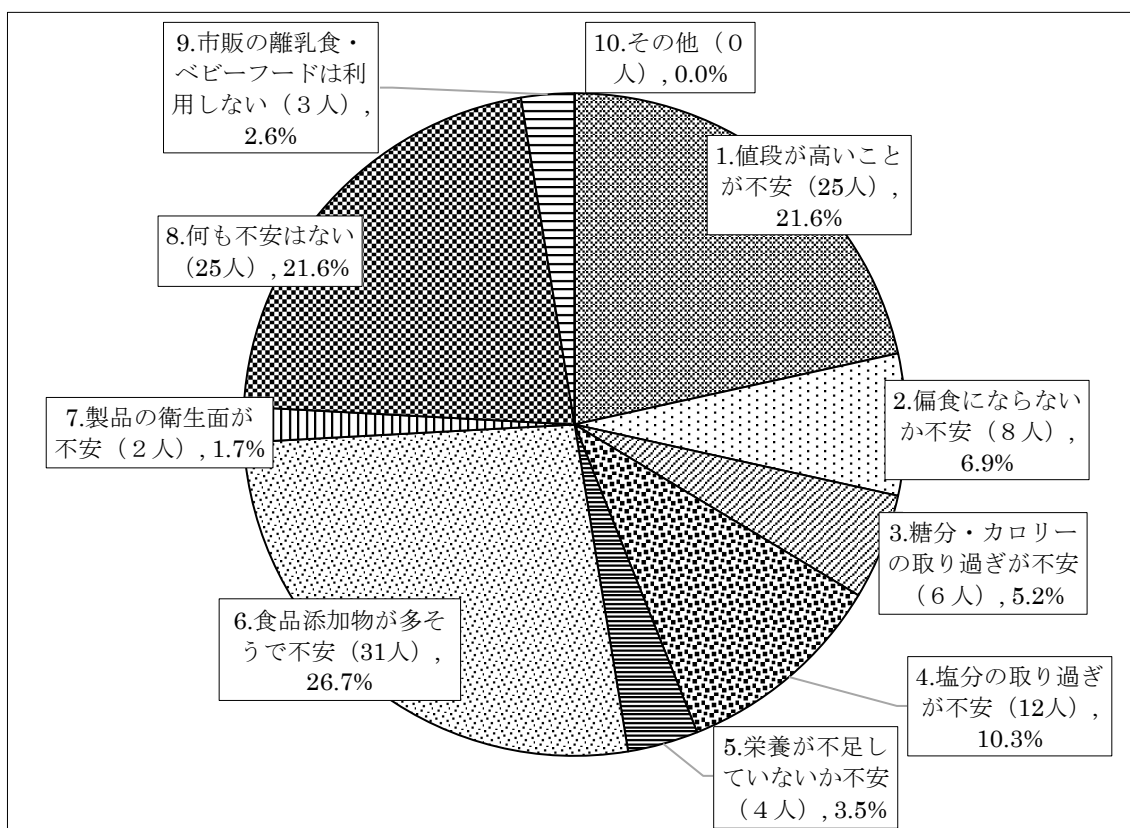
アンケート回答者のお子さんに1回当たりどのくらいの量の市販の「離乳食・ベビーフード」を与えているかとの問いに対して、「1食当たり多くも、少なくもとくに決めていない」(53.5%/62人)が最も高く、「パッケージ1袋(食)分の量」(36.2%/42人)と続いている。

○「その他」の意見

- ・小分けにするので30gほど
- ・市販の離乳食をあまり食べなかったため、非常時に準備していたので与える決まった量はない。

Q10 お子さんに与えている市販の「離乳食・ベビーフード」に不安がありますか？（1つ選ぶ）

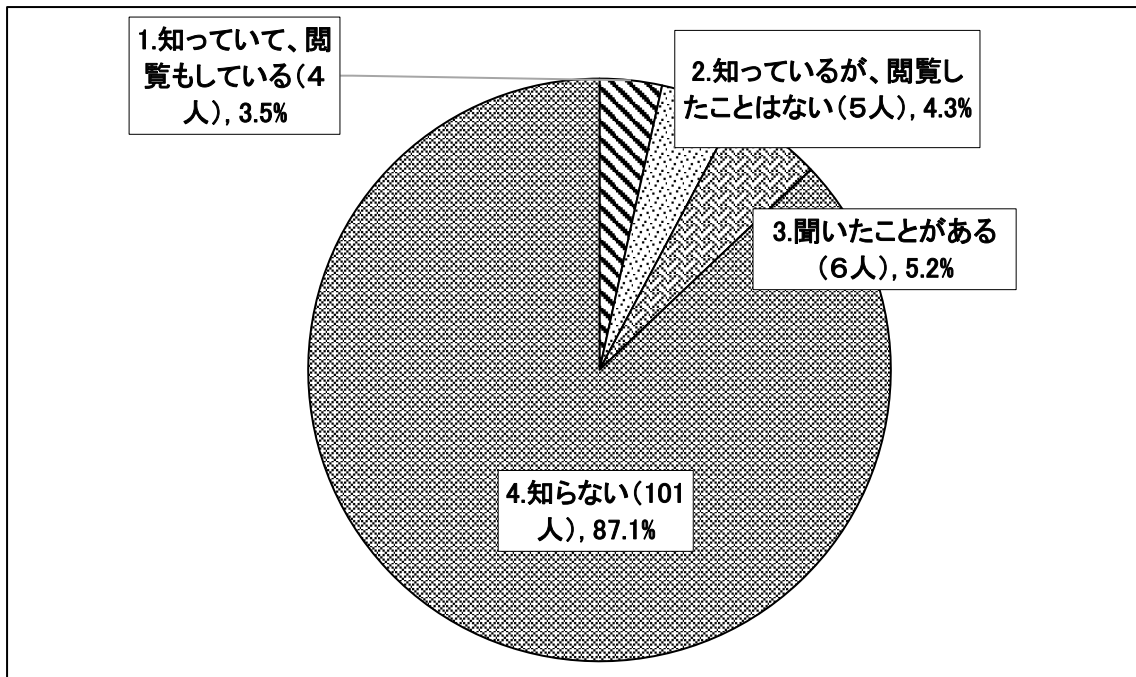
選択肢	回答者	割合
1.値段が高いことが不安	25 件	21.6%
2.偏食にならないか不安	8 件	6.9%
3.糖分・カロリーの取り過ぎが不安	6 件	5.2%
4.塩分の取り過ぎが不安	12 件	10.3%
5.栄養が不足していないか不安	4 件	3.5%
6.食品添加物が多そうで不安	31 件	26.7%
7.製品の衛生面が不安	2 件	1.7%
8.何も不安はない	25 件	21.6%
9.市販の離乳食・ベビーフードは利用しない	3 件	2.6%
10.その他	0 件	0.0%



アンケート回答者のお子さんに与えている市販の「離乳食・ベビーフード」に対し何か不安があるかとの問いに対して、「食品添加物が多そうで不安」(26.7%/31 人)が最も高く、「値段が高いことが不安」及び「何も不安はない」(21.6%/25 人)と続いている。

Q11 栃木県では「とちまる食の安全通信」を SNS(Facebook、twitter)にて運営しています。閲覧したことがありますか？(1つ選ぶ)

選択肢	回答者	割合
1.知っていて、閲覧もしている	4人	3.5%
2.知っているが、閲覧したことはない	5人	4.3%
3.聞いたことがある	6人	5.2%
4.知らない	101人	87.1%



栃木県では「とちまる食の安全通信」を SNS(Facebook、twitter) で発信しているが、閲覧したことがあるかの問いに対して、「知らない」(87.1%/101人)が最も高く、「聞いたことがある」(5.2%/6人)、「知っているが、閲覧したことはない」(4.3%/5人)、「知っていて、閲覧もしている」(3.5%/4人)と続いている。

3. 考察

(1) 回答者について

・Q1 の回答結果は、1人(47.4%)、2人(38.7%)、3人(12.1%)、4人以上(1.75)の順であったが、令和3(2021)年国民生活基礎調査(厚生労働省調べ)の1人(9.7%)、2人(8.2%)、3人以上(2.8%)と同じ順であった。

・Q2 の回答結果は、保育所(30.2%)、認定こども園(12.1%)、幼稚園(7.8%)の順であったが、平成30年度幼稚園・保育所等の年齢別利用者数及び割合(文部科学省調べ)では保育園(36.5%)、幼稚園(20.4%)、幼保連携型認定こども園(10.1%)であった。

(2) 離乳食・ベビーフードについて

・Q3において、離乳食・ベビーフードを「利用している」(59.5%)と回答した者が半数以上おり、更に「利用しているが、できるだけ手作りにしている」(28.5%)を合わせた88.0%が離乳食・ベビーフードを利用していた。また、「市販の「離乳食・ベビーフード」はほとんど利用しない」(7.8%)と「市販の「離乳食・ベビーフード」はまったく利用しない」(4.3%)を合わせた12.1%が離乳食・ベビーフードを極力利用していない状況が明らかになった。

・Q4において、離乳食・ベビーフードの購入目的では、「外出や旅行などに用いるため」(32.8%)、「調理するのが大変なため」(19.0%)、「食事のバリエーションを増やすため」(19.0%)と回答した者が多かったことから離乳食・ベビーフードが普段の食事の補助的な役割で利用されていることが推察できる。

・Q5において、離乳食・ベビーフードの購入先では、多くの回答者(87.1%)が「ドラッグストア」(44.0%)と「乳幼児用品の専門店」(43.1%)を選択した。「ドラッグストア」及び「乳幼児用品の専門店」が、子育て世代(保護者)の離乳食・ベビーフード購入先として重要な役割を担っていることが推察できた。

・Q6において、離乳食・ベビーフードを選択する際のポイントでは、「栄養価を補給できるもの」(55.2%)が最も多く、「お子さんが好きなもの」(45.7%)、「おいしそうなもの」(44.8%)、「自宅では調理しにくいもの」(50.0%)と回答されているが、「食品添加物の少ないもの」(43.1%)も多く回答されており、離乳食・ベビーフードを選択する際に食品添加物の使用がポイントとなっている状況が明らかになった。

・Q7において、離乳食・ベビーフードを購入する際にパッケージのどの箇所を確認するかでは、「お子さんの月齢に合った商品かどうか」(78.4%)が最も多く回答されており、子育て世代(保護者)が離乳食・ベビーフードを子供のために購入する際に最も気を付けている事項であることが明らかとなった。

・Q8 について、回答者の子供に食べさせたい市販の「離乳食・ベビーフード」とはどんなものかと考

えているかでは、「栄養バランスが考えられているもの」(88.8%)、「おいしいもの」(74.1%)と回答した者が多かったことから、どの様なものを子供に食べさせたいかが明らかになった。また、「食品添加物が入っていないもの」(38.8%)が多くの回答者から選択されていることから、Q8からも食品添加物の使用が子育て世代(保護者)が考える子供に食べさせたい離乳食・ベビーフードであることが推察される。

・Q9について、回答者の子供に1回当たりどのくらいの量の市販の「離乳食・ベビーフード」を与えているかでは、「1食当たり多くも、少なくもとくに決めていない」(53.5%)が最も多くの回答者から選択されていることから、食事の状況に応じて離乳食・ベビーフードを利用していることが推察される。

・Q10については、回答者の子供に与えている市販の「離乳食・ベビーフード」に不安があるかでは、「食品添加物が多そうで不安」(26.7%)が最も多く回答されており、Q6とQ8の結果を合わせて食品添加物が使用されているかが子育て世代(保護者)の離乳食・ベビーフードを選択する際に強く影響されることが推察される。

(3)とちまる食の安全通信について

・「とちまる食の安全通信」を「知っていて、閲覧もしている」が、3.5%と依然として認知度は低い。更なるPR活動が重要である。

4. 結論

離乳食・ベビーフードを利用する時期の子供を持つ子育て世代(保護者)は、食品添加物への関心が高く、食品表示を確認することが多いことが判明(*1)している。

今回のアンケート結果からも同様の結果が得られていることから子育て世代(保護者)が離乳食・ベビーフードを利用するにあたり抱えている不安の一つとして食品添加物が挙げられていることから、離乳食・ベビーフードに利用されている食品添加物に対して、行政側から食品添加物に関する健康影響評価及び食品表示について、製造業者から離乳食・ベビーフードへの食品添加物の使われ方等の説明を実施した後に参加者による意見交換会の実施は、食品添加物に対する不安軽減に有益である。

*1:母親の食品添加物への意識と行動 —出産・育児による変化— 順天堂医学 45(1)1999.